

# 講演会

## 台湾の労使関係の発展と課題

講演 潘世偉 氏（元中華民国労働部長）

### 講演要旨

#### I.台湾における労使関係の展開

##### 1949-1980年 国家主導

- ・ 包括的かつ排他的な労使政策
- ・ 国家介入型の労使関係
- ・ 産業発展のツールとして

##### 1980-2011年 痛苦を伴う転換

- ・ 産業構造の転換、政治の自由化、中国の改革開放
- ・ 既成の枠組みからの脱却  
(制度圏外の労組運動、工場閉鎖とストライキ、活発化する労働運動)
- ・ 労働市場ルールの確立(多元的な労働組合の存在)

##### 2011年以降 古い幹に伸びる新しい枝

- ・ 新しい労働三法(労組法、団体協約法、労使紛争対処法)
- ・ 人口と労働市場構造の変化
- ・ 新しい労働組合主義と労使紛争をめぐる近年の動向



**潘世偉** コーネル大学で産業・労使関係の博士号取得。労働大臣、行政院劳工委员会主任委員、政務副主任委員、中華民国全国总工会秘書長、台湾機械産業工会連合会総幹事、国際金属労連中華民国委員会(IMF-ROCC)国際チーフなどを歴任。中国文化大学を退官後のいまも、台湾大学など複数の大学で教鞭を執り、政府、企業、労働組合のアドバイザーなどを務める。専門は団体交渉、労使関係、比較国際労使関係。

#### II.台湾総統選挙後の労働界の動向

- ・ 台湾における労働組合主義と政党政治
- ・ 労働組合と中台関係
- ・ 製品市場の変化に伴う課題

2024年 開場 13:30 [定員 140名、予約不要・無料]  
**1月20日(土)** 14:00 ~ 17:00

明治大学 駿河台校舎 リバティタワー13階 1133教室

主催:明治大学国際労働研究所

03-3296-1862 / itls@meiji.ac.jp